

会議結果報告書

1 会議の名称

光市まちづくり市民協議会
(第3期まちづくり市民協議会第4回会議)

2 開催日時

平成23年11月13日(日) 午前10時から午前11時40分まで

3 開催場所

光市役所3階大会議室1・2・3号室

4 出席者

まちづくり市民協議会委員14人

5 公開・一部非公開の別

公開

6 会議の議事録(要旨)

(1) 会長あいさつ

行楽期の休日にご出席いただき、ありがとうございます。

本日の会議では、資料を事前にお送りしたように「市民アンケート調査」、「地域別まちづくり・きらめきワークショップ」などの報告を受けることになっている。

現在、事務局では、「総合計画後期基本計画」、「都市計画マスタープラン」、「緑の基本計画」の策定に取り組んでいるが、ほかにも、「(仮称)室積コミュニティセンター整備基本構想」や「岩田駅周辺地区整備基本方針」なども手掛けている。

プランづくりもそろそろ佳境にあると思う。市長マニフェスト、市の方針、ワークショップでの意見、アンケートでの意見など、うまく融合した計画ができることを期待している。本日もご意見があれば、伺いたいと思う。

(2) 協議事項

① 地域別まちづくり・きらめきワークショップについて

事務局担当者が説明（省略）

(会長)

委員の皆さんも参加し、合計16回にわたった「地域別ワークショップ」。まとめを聞いて、ご意見はありませんか。

(委員)

よくまとめてもらい、ありがとう。私は、西部地域の住環境づくりに参加した。資料を見ると、浅江地区では「モノ」とか「場所」とかを中心に考えていたが、他の地区では「人」を中心に考えられている。この点は学ばないといけないと感じた。

「人」を中心に考えるのは非常によいことだ。例えば、東部地域では、「いつでも楽しく話ができるコミュニティの場づくりプロジェクト」など、まさに人を中心に考えられている。

新しいものを作るとか、新たに開発するとかもあるが、人を中心に考えることを学ばせてもらった。

(会長)

大変参考になったというご意見ですね。

② まちづくり市民アンケート調査について

事務局担当者が説明（省略）

(会長)

3月の第2回会議で昨年度のアンケート調査について報告を受けたが、今年度の調査は時期を早めて実施したとのこと。ご意見はありませんか。

(委員)

前回と策定時との比較があるが、毎年 of 推移から問題点とか見えてくるのではないか。推移はわからないのか。

(事務局)

一連の推移は、データとしてある。19年度から23年度まで5回調査し、満足度については年々の上がり下がりはあるが、19年度が比較的良く、その後下がったが、21年度から22年度にかけては、上昇傾向にある。すべてのデータは手元には無いが、市民の満足度は全体的には改善されていると感じている。安全・安心に関する分野が、どの年度をみても上位にある。市民の皆さんが対策を望んでいるものが上位にある。

(委員)

推移をみる中で、今年は震災があったとか、病院問題の議論があった

とか、その年その年の問題点が出てきて、その問題に左右されているとも思うので、もう少し踏み込んだ分析も可能だと思う。市民の皆さんが5年間でどのように考えたかを、次の5年間に活かしていければと思う。

(事務局)

8月に「総合計画後期基本計画」の中間報告をしたが、まだ今年度の「市民アンケート調査」結果は入れていない。策定時からの5年間の評価や成果についてまとめているので、後期基本計画へ活かしていきたいと考えている。

(委員)

16回開催され、事務局は大変だったと思う。

東日本大震災後、地域づくりやまちづくりに対する視点が変わってきた。日本列島の見方、国の予算も第3次補正に行くまで時間がかかっている。TPPの問題、増税、病院など、いろいろあった。県内19市町も、国の予算の動きを見ながら考えていかなければならない。旧態依然とした会議の進め方もこれからは考えるべきだ。

原発問題も、祝島のとなりで、市に対する国の予算、中電のこと、本当に原発が建設は可能なのか、無理ではないのか。地域のまちづくりに対しても、東北では高台への移転とか、青写真ができつつあるが、国家予算を使わないといけな。我々も視点を変えて考えていかなければならない。

行政改革の議論も、舌足らずで終わった気がする。その後どうなったのか。世の中が変わってきていて、転換期になっている。国家も変わっている。メンバーもそれなりの気持ちで出たほうがいい。事務局もしっかりしているのでまとめるのは報告書にまとまると思うが、まとめるに際して、皆さんも参画意識が必要と思う。

(委員)

28頁のニーズの分析について、今回大地震があつて、「地震・台風災害など災害対策の充実」前回は3位で策定時は2位だった。これを見ると、市民の意見が反映されていないという率が高くなっているようだ。

今年1月の政府の地震発生確率を見ると、四国沖の南海トラフで30年以内に60%以上の確率でM8.4の地震が起きると予測されている。南海地震、東南海地震、東海地震の3連続の可能性も出てきたとして、政府も見直しをしている。

地震対策の充実に対して、市役所が災害対策本部となるが、庁舎の耐震性の問題もいわれているし、後期基本計画で、どのように盛り込まれるのか。

千坊台では、避難所は室積中学校になっている。地震の教訓は山の方

へ逃げろというのが、山から下りないといけない。避難地域の見直し、避難場所の耐震性の問題とか、具体的にどんな考えか。

(事務局)

3. 11後、市政をとりまく環境が大きく変わってきている。光市では県内トップクラスの状況で小・中学校の耐震化を進めてきた。小・中学校の体育館は避難所になっているので、体育館から実施し、それから校舎に取り組んでいる。市長マニフェストにあるし、平成26年度までに耐震化を完了予定としている。皆様の意向を踏まえ、市議会からもいろいろな意見をもらっているので、十分検討してく予定。

(委員)

2頁を見てほしい。調査対象者が1,000人なので、その中で旧大和の戻ってきた率14.2%でみると、数にすると約60票程度になる。大和全体がこの60になると、病院の問題なんかなかったことになってしまうと思う。

東部地域のワークショップの最後に、行政の了解を得て、8月から10月にかけて自治会を通じて全世帯にアンケートを配布し回収した。回収率は64.7%だった。岩田地区については80%の回収だった。この中で何かが見えてくるのではないかと思う。個人の想いで作ったので、不備はあると思うが、自治会の会長あてに「このたびの調査は、行政をはじめ、関係方面に、個々のケースごとにニーズの分析が可能な素材を提供することを目的としており」として実施した。

この集計結果をみて、なんとか活かしたいという人が、このアンケートを利用してもらいたいと考えている。

年末くらいには集計結果が出ると思う。年末にこの会があると思うので、報告できると思う。

市で行うアンケートは市全域を対象としているので、このアンケートは市政の進むべき方向の目安とする意識調査として実施している。

(委員)

アンケートの光市のまちづくりの提言、ワークショップの内容と、ある程度似ているが、どのように整合をとるのか。

また、ワークショップ等で緑のグループとか住みよい環境グループとか別れたが、自分は緑のグループに入っていたが、各地域の方と似通っているなので、他の地域の方々と話し合いたいと思うが、市の方で話し合いの機会をつくってもらえる事は可能か。

(事務局)

アンケート結果とワークショップの成果について、いただいた意見については、十分に活かしていきたい。具体的にどうかとは、言いにくい

が、アンケートやワークショップの意見については、策定に活かしたいと考えている。

(委員)

緑のグループではホタルをどのように飼育していったらいいかとか出ている。他の地区でもホタルの話が出ている。最初からホタルを飼育し、環境を整えて、観光に育てあげようということは同じである。ホタルを飼うことによって、川をきれいにしよう、清掃しようというだけでなく、ホタルを育てることによって、自然と水とか環境もよくなると考えている。そういったことで話をしたいと思っている。そのような会を作ってもらえるのか。

(事務局)

今まではビフォーだった、アフターの話だと思う。ワークショップ後にワークショップを市の主催で実施することは考えていないが、総合計画後期基本計画をつくって、これを住民の皆さんに説明する機会は考えていかないといけないと思っている。

(委員)

ワークショップでいろんな意見が出て、どういうふうに行動していかなければいけないというのも出ていて、それが共通しているというのも分かる。同じような課題を集まって話す場は大事だと思う。

ワークショップで出した意見について、出された意見を計画に反映するのは当たり前であって、でも計画は計画であって、実行していくためには、何が重要なのかについて、市の方で考えるのではなくて、委員の皆さんの方で委員自身の中で何ができるのか、委員の方のご意見を聞きたい。

(事務局)

まちづくり市民協議会の委員の皆さん、総合計画をつくるということで、策定に関してご意見ご提言をいただいてきたが、大きな役割の一つに、策定後のチェックも含まれている。任期はあるが、まちづくり市民協議会は続いていくので、よろしくお願いします。

(委員)

計画を策定してその推進力を考えた時に、行政改革も大切だけど、市民力を上げていくことだと思う、市民の個人個人の努力も必要だし、連携していくことも必要で、そういったことを行政の方で支援してもらいたいということも必要だと思う。どう推進していくかを考えて、計画を策定していきたい。

(委員)

今回のアンケート調査票は、光市オリジナルか、それともどこかの会

社を通じてが作成したものか。

12～14頁をみると、皆、非常に光市は住みよいと感じているが、この背景について分析されて、どうな背景があると考えているのか。

(事務局)

アンケートのオリジナリティについてですが、当時のことは詳しくわからないが、コンサルタントからアドバイスを受けながら作成しているが、基本的には光市オリジナルと考えている。

住みよいと感じている背景については、満足度の5年間調べてきたが、満足度の傾向も同じような結果に表れていると思う。

(委員)

他の自治体でも同じような、下松とか柳井とかでも同じ質問があれば、結果の比較ができれば、光市の住みやすさが高ければ、より光市が住みよいまちであることを、前向きにアピールできるのではないかと思う。

(事務局)

全部ではないが、他の結果を調べたこともあるが、自分のまちで暮らしたいというのは、他の町でも同じような高い値となっていて、ふるさとには愛着は高いと感じた。

(委員)

他の市町村で同じような結果があれば、別の機会にでも教えてほしい。

(委員)

アンケートを見て、光市に対する満足度、愛着を感じているというのが分かるが、この数字が、60歳代70歳代が多いので、若者の意見が反映されていないと思うが、光市全体的には満足している。

重要度・満足度の相関図ところで、重点的に課題を解決しなければならないところは計画に反映していただきたい。計画策定の内容を詰めていくことも必要だと思うが、市民力をどういうふうに活かしていくかという、仕組みづくりというのがとても重要だと思う。

ニーズの掘り起こし、堀江さんのホテルの話など、大きくは災害対策など、解決へ向けて、こういうふうなやり方をすれば、という部分も盛り込んでもらえたらと思う。

(委員)

市民力アップについての話があったが、個々に地域ごとにまとまっていると、地域ごとの話かなと思ったが、項目ごとに比べてみたら、重なる部分もあるし、地区でできることと、市全体で取り組んだ方がいいのかというのがある。我々は、ワークショップをやってアンケートをやって、反映しますと言われるが、どこがどう反映していくのか反映されたのかが、いつも不安だが、一つ一つチェックするのは難しいし、作る方

も、ここに何を反映しましたと説明するのも難しいと思う。

目に見える動きとして見ていると、自分たちも参加しているし、動いてきたなというのが分かる。市民力アップという事まで、仕組みづくりまで盛り込んだ計画にするのは良いことだと思う。

また、協議会にいたので企画広報課の方を中心に話をしている。基本計画は全体にわたる事なので、本当は一つ一つ話が聞けるのがいいともうが、それは無理なので、今一番いいのは地域づくり推進課だと思う。

地域の事とか、地域で何かするとき、地域づくり支援センターに行くといいと思う。

いろいろな課にまたがる話をするとき、いいと思うし、そういう場になってほしいと思っている。

委員の皆さんも、地域づくり支援センターに顔を出して、いろいろな話を持ち込んでみるといいと思う。支援センターではある程度の活動団体が動いている。窓口が広がっていて、あそこに行くと何か解決する形になってくればいいと思うので、顔を出すことで、自分たちのやっていることが、他の市民団体のやっていることと同じだったり、一緒にやることができるようになるかもしれない。一緒になれば、行政に話を持っていけるかもしれないという形に育っていくと、自分たちがアクションするという意味でいいと思う。

(会長)

アンケート調査での年代別の変化があるのではという意見。

委員の皆さんも、何か反映させる取組み起こしたい。自ら興すことも必要だという意見もあった。

(事務局)

市民力アップの重要性の話が出ているが、市民力は人と人の絆、繋がり、コミュニティということになるともう。地域コミュニティが活発になるように、総合計画の中でも施策に盛り込んでいきたい。地域づくり推進課を核として何か展開できればと思う。

(事務局)

アンケート回答者に若者が少ないということについては、前期基本計画の進捗状況ということで、5年間同じ手法でやってきた。後期基本計画の策定を節目として、今後は工夫していきたい。

(会長)

その他に移りたいが、他に意見はないか。

(委員)

来年の3月までのスケジュールはどうなっているか。

(事務局)

次の協議会は12月下旬を考えている。「総合計画」、「都市計画マスタープラン」、「緑の基本計画」についての説明を予定している。

(委員)

任期は来年の3月までだが、それで終わりか。

(事務局)

今のところ12月で、それ以降は未定。